

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 日光国立公園

所在地: 栃木県日光市狸窪

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2024年9月25日

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 米田 舜、桐原 薫

個体番号		1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19		20
(毎木調査番号)			301 ↓ 802			304 ↓ 803														308 ↓ 801				
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	マルバアオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	オオイタヤメイゲツ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ベニケカンバ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	マルバアオダモ	ブナ	ウラジロモミ	ベニケカンバ	イヌブナ	ブナ	オオイタヤメイゲツ
樹種名 (学名)	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Fagus japonica</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer shirasawanum</i>
相対的樹高	Null	-		+	-	+	+	-	+	Null		+	-	+	+		+	-	+	-	Null		Null	+
樹高 (m)		12.6	20.2	32.0	13.8	18.2	31.0	17.3	31.5		23.0	24.0	18.0	23.2	24.0	24.6	25.6	12.0	22.5	15.5		17.0		21.6
胸高直径 (cm)		17.1	28.7	68.8	20.3	32.5	90.6	21.0	59.5		32.2	45.4	21.1	35.2	39.1	32.5	32.0	36.1	45.9	20.3		26.1		33.9
樹勢	2020年調査で枯死を確認		1		1			1		2006年調査で枯死を確認								1			2006年調査で枯死を確認	1		2017年調査で枯死を確認
樹形		1			1			1	1				1										1	
枝の生長量		1	1					1																
梢端の枯損																								
落葉率																								
葉の変形度																								
葉の大きさ																								
葉色																								
葉の障害状況																								
ダメージクラス																								
枯死前年の樹高 (m)	13.6									16.7											22.4		13.9	
直径 (cm)	19.3									57.3											112.4		28.9	
調査年度	2019									2005											2005		2016	

樹木衰退の原因推定

802, 303: 上木の被圧により、葉・枝の生長阻害
 6, 295: 片側からの被圧による樹形の乱れ
 9, 801: 過密化、上木の被圧による枝の生長阻害
 339: 2本立ちのうち1本が古い幹折れにより樹勢衰退(きのこ発生)
 357: 表土の流出により、根の露出・樹形の偏り

備考

297, 309(2006年枯死)の代替木として337(旧298), 308を追加(2006年)
 311(2017年枯死)の代替木として285を追加(2019年)
 284(2020年枯死)の代替木として266を追加(2020年)
 2018年調査からアオダモ (*Fraxinus lanuginosa* f. *serata*) をマルバアオダモ (*Fraxinus sieboldiana*) に修正
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した
 357: 2023年調査からブナ (*Fagus crenata*) をイヌブナ (*Fagus japonica*) に修正
 8: 2023年調査からイタヤカエデ (*Acer pictum*) をオオイタヤメイゲツ (*Acer shirasawanum*) に修正

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 吉野熊野国立公園

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2024年9月6日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 若山 学

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W		
樹種名 (和名)	ナナ	ナナ	ウラジロモミ	オオイタヤメイゲツ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ナナ	ナナ	オオイタヤメイゲツ	ヒノキ	ナナ	ナナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ		
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>		
相対的樹高	-	+	Null	-			+	-		Null	+			-	-							
樹高 (m)	16.1	17.2	2024年、掛かり木の ため観察不	14.5	17.9	16.6	17.6	20.9	13.8	18.4		16.3	16.6	17.2	16.0	14.3	20.6	10.2	17.8	15.6	20.0	17.8
胸高直径 (cm)	26.9	49.7		25.2	33.1	43.7	48.7	42.5	31.0	43.8	2018年調査で枯死を 確認	49.9	34.6	43.7	30.5	22.8	50.6	37.2	42.8	43.1	41.6	42.6
樹勢		1				1	1					1		1					2		1	
樹形		1		1			1							1					3		2	1
枝の生長量		1																				
梢端の枯損		1		1		1		1	1			1		2				4		1		
落葉率														1								
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)			16.5								26.0											
直径 (cm)			29.1								51.8											
調査年度			2023								2018											

樹木衰退の原因推定 個体番号14: 個体番号15に被圧されている
個体番号18: サルノコシカケが着生、内部腐朽が進行していると推察される

備考 52(2019年枯死確認)の代替木として54を追加(2019年)
毎木調査番号28のウラジロモミは、プロット外の木が倒れかかって重なり、観察できない(枯死はしていない)。代替木として毎木調査番号27のオオイタヤメイゲツを追加(2024年)
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 大山隠岐国立公園

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山宇大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 2024年8月8日、23日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 池本 省吾

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H4	H3	H12	C26	C25	C21	H5	I81	H2	H6	H9	M1	M2	167
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	S	N	N	N	S	N	S	S	N	W	W	E
樹種名 (和名)	ハナチヲカエデ	コシヤナラ	ナナ	キハダ	ナツカエデ	コシカエデ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ
樹種名 (学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Chengiotanax sciadophylloides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i> var. <i>amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Acer micranthum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Aria ahnfolia</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Acer micranthum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Padus grayana</i>
相対的樹高		Null	+			Null	+			Null	Null				+		+	Null	
樹高 (m)	10.6		25.2	20.4	18.6		27.4	19.8	17.5			11.8	17.1	14.7	26.3	22.4	27.7		15.2
胸高直径 (cm)	27.3		91.0	39.7	27.2		53.3	42.4	55.3			31.0	32.8	27.1	71.0	54.9	88.0		34.4
樹勢	1		1										1						
樹形	1	2018年調査で枯死を確認	1	1	1	2011年調査で枯死を確認	1	1				1	1	1	1	1		2022年調査で枯死を確認	1
枝の生長量	1		1	1	1							1	2	1			1		1
梢端の枯損			2																
落葉率																			
葉の変形度																			
葉の大きさ																			
葉色																			
葉の障害状況																			
ダメージクラス																			
枯死前年の樹高 (m)		2.3				10.2				7.2	12.2								16.1
直径 (cm)		21.1				25.5				13.8	23.1								57.0
調査年度		2017				2010				2010	2010								2021

樹木衰退の原因推定

- 1: 3番のブナによる被圧。
- 3: 上方二股の一方が枯れている、前年と大きな変化はない。
- 12: 上層木による被圧。
- 13: 上層木による被圧。
- 14: 上層木による被圧、幹曲がりが大きいため雪害を受けやすい。

備考

- 12, 13: 2011年度に新規追加
- 14~18: 2015年度に新規追加
- 2(2018年枯死確認)の代替木として19を追加(2019年)
- 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
- 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 歴史島国立公園(歴史島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2024年10月17日

機関名: 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

報告者名: 川原 大基

個体番号 (毎木調査番号)	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3		W4	W5		S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	サクラツツジ	ヒサカキ	ヤブツツジ	フカノキ	サカキ	サカキ	ヤマザクラ	ヤマザクラ	ヤマツツジ	ヤマツツジ	サカキ	フカノキ	サカキ	サカキ	サカキ	サカキ	サカキ	ヤマツツジ	ヤマツツジ	サカキ	シロメチ	ヤマツツジ
樹種名 (学名)	<i>Rhododendron tashiroi</i>	<i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Hepptaplaurum heptaphyllum</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Actinodaphne acuminata</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Libocarpus edulis</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Hepptaplaurum heptaphyllum</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Libocarpus edulis</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Mysticne seguinii</i>	<i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Ilex buergeri</i>	<i>Camellia japonica</i>
相対的樹高	-	-	-			-			Null			Null	-				-	-	-	-	+	-
樹高 (m)	7.5	11.2	9.2	11.1	12.4	9.5	11.0	10.4		14.0	13.0		10.2	11.0	10.9	12.9	10.2	8.5	8.9	10.6	17.3	5.7
胸高直径 (cm)	12.2	13.4	12.7	35.2	28.1	17.5	25.7	18.1	2022年調査で枯死を確認	30.2	29.8	2015年調査で枯死を確認	21.3	12.3	21.5	23.7	17.5	13.9	9.2	14.8	62.2	8.9
樹勢			2	1	1	1	1	1			1				1	2				1	1	
樹形			1	1	1		1	1							1	1		1	1			1
枝の生長量		1						1								1					2	
梢端の枯損								1								2						
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)									11.2													
直径 (cm)									26.1													
調査年度									2021													

樹木衰退の原因推定

E3, E4: ツル植物(サカキカズラ)に林冠部が被覆されている。
 W1, W2, W3: 隣接木(ヤマザクラ)に林冠部が被圧されている。
 W5: ツル植物(シラタマカズラ)が林冠部を被覆している。
 S3: 枝の一部が折れている。
 S4: 幹にカシノナガキクイムシの穿孔穴の数が増え、幹全体に広がっている。
 N1, N2, N3: 隣接木と競合している。
 N4: ツル植物(ツタ, シラタマカズラ)が被覆している。
 N5: 頂部付近に幹折れがあるが、回復している。

備考

S1(3-31)のサカキを2015年に枯死したフカノキの代替木として追加(2018年)
 W4(3-15)のマテバシイを2022年に枯死したヤブツツジの代替木として追加(2022年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2024年9月20日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 富沢 裕子

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8-2	9	10	11	58	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ブナ	ミズナメ	イヌシデ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	イヌシデ	アカシデ	ブナ	ミズナメ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ミズナラ	ヤマザクラ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Cercis japonica</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	+	+	Null	-	+			Null	-			Null	-							
樹高 (m)	30.3	35.0		22.4	31.6	25.0	24.8	25.4		18.3	21.6	20.4	26.0							
胸高直径 (cm)	42.6	57.4	2018年調査で枯死を確認	42.2	66.5	53.1	55.7	55.7	2016年調査で枯死を確認	30.4	40.9	33.5	60.0	2015年調査で枯死を確認						
樹勢																				
樹形									1		1					1	1			
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				
枯死前年の樹高 (m)			20.7						14.5					18.5						
直径 (cm)			46.5						38.1					49.7						
調査年度			2017						2015					2014						

樹木衰退の原因推定 16: 被圧のため若干勢いが弱くなっている(カシナガの痕跡は見られない、2022~2024年調査)。
17: 下枝の折損により樹形が乱れている
方位Eは低木による遮蔽がある

備考 12の枯死にともない、58のイタヤカエデに代替した(2015年度)
8の枯死にともない、8-2のブナに代替した(2016年度)
3の枯死にともない、大円外のイタヤカエデに代替した(2018年度)
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2025年1月17日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一, 金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	3-27	3-28	3-29	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヤマモモ	クスノキ	ホトトギス	イチイガシ	クスノキ	イチイガシ	ハゼノキ	ヤマモモ	ヤマモモ	クスノキ	ヤマモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	イチイガシ	ヤマモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ
樹種名 (学名)	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Elaeocarpus zollingeri</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Toxicodendron succedaneum</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>
相対的樹高		+		Null							-							-			
樹高 (m)	15.0	19.5	15.3		15.8	16.5	15.4	13.8	13.8	18.0	10.2	13.5	13.5	13.8	13.0	15.0	18.3	13.8	18.2	18.2	18.2
胸高直径 (cm)	29.5	74.9	41.3		34.2	29.2	37.3	41.7	46.9	95.2	29.5	46.2	36.3	46.9	34.5	32.2	50.1	38.7	43.8	57.5	52.0
樹勢	1							1			1				1						
樹形																					
枝の生長量								1			1										
梢端の枯損	1							2	1		2				1			1	1		
落葉率	1										1										
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					
枯死前年の樹高 (m)				15.0																	
直径 (cm)				18.2																	
調査年度				2005																	

樹木衰退の原因推定 2-1, 2-26, 2-27, 3-7, 3-16, 3-21, 3-24: いずれも隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損。ヤマモモに多く見られる。生育状況に問題はないと考えられる。

備考 3-29(2006年枯死)の代替木として3-1を追加(2007年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2025年1月17日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一, 金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	2-14	3-10	2-15	3-12
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤブモモ	クスノキ	スダジイ	ナナミノキ	スダジイ	クスノキ	スダジイ	ヤブニツケイ	ナナミノキ	ヤブツバキ	スダジイ	スダジイ	スダジイ
樹種名 (学名)	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum yabunikkei</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>	<i>Casatropis sieboldii</i>
相対的樹高																-	Null		-	Null		
樹高 (m)	20.0	21.5	18.5	19.0	19.0	15.0	20.5	20.5	20.5	18.5	21.0	21.5	15.5	19.5	21.5	8.0		17.5	10.1		19.0	17.0
胸高直径 (cm)	70.5	87.7	69.6	53.4	58.6	46.2	40.7	54.2	54.6	47.1	55.6	80.0	34.3	61.9	52.4	75.7		42.9	16.8		53.9	47.6
樹勢						2										2						
樹形			1			2										3		1				
枝の生長量																						
梢端の枯損	1		1			1				1				1		2		1				1
落葉率																1						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)																	16.5			16.5		
直径 (cm)																	30.8			35.2		
調査年度																	2014			2016		

樹木衰退の原因推定 1-1, 3-1, 1-5, 2-9, 2-13: 強風による枝折れが影響。
 3-6, 3-12: 隣接木の被圧。
 1-13: 木材腐朽菌による幹の腐朽と強風による枝折れが影響 (2024年樹高低下14.8→8.0m)。

備考 2-14: 1-14の代替木として2016年に新規追加
 2-15: 3-10の代替木として2018年に新規追加
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2025年1月31日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一, 金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-9	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	3-14	1-97	2-20	3-15	3-17	3-18	3-19	
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	タブノキ	シロカシ	ツツアカシ	イチイカシ	タブノキ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	ネムノキ	ネムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	シロカシ	シロカシ	ヤブニツカイ	ツツアカシ	ツツアカシ	ツツアカシ	
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>yubankkei</i>	<i>Cinnamomum yubankkei</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>
相対的樹高			—								Null	Null			—							—	Null	
樹高 (m)	17.0	22.0	15.0	18.3	17.0	19.5	17.5	17.0	20.0	20.5			22.5	23.0	15.0	23.0	16.5	20.0	7.9	18.5	15.0	19.0		
胸高直径 (cm)	38.9	39.4	26.9	26.2	32.8	31.7	25.4	22.5	36.9	39.8			38.8	51.4	20.7	56.2	36.7	36.4	9.8	58.5	31.8	41.5		
樹勢															4									
樹形			1												4									
枝の生長量															-									
梢端の枯損			1												4									
落葉率															4									
葉の変形度															-									
葉の大きさ															-									
葉色															4									
葉の障害状況															4									
ダメージクラス															4									
枯死前年の樹高 (m)											16.0	16.0											13.0	
直径 (cm)											24.4	27.1											30.0	
調査年度											2011	2023											2021	

樹木衰退の原因推定
 2-24, 3-12: 隣接木の被圧
 3-7, 3-11: キツタ絡み
 1-97: テイカカズラ絡み
 3-8: 強風により倒伏、枯死 (2023年)
 3-19: 幹折れにより枯死 (2012年)

備考
 3-9(2012年枯死)の代替木として3-8を追加(2013年)
 3-19(2022年枯死)の代替木として2-20を追加(2022年)
 3-8(2023年枯死)の代替木として3-14を追加(2024年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2025年1月31日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	3-2	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	1-80	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	タブノキ	ツツラジイ	タブノキ	ツツラジイ	ツツラジイ	ツツラカシ	ツツラジイ	クスノキ	ツツラカシ	ツツラカシ	ツツラカシ	ツツラジイ	ツツラジイ	ツツラジイ	ツツラカシ	ツツラカシ	ツツラカシ	ツツラジイ	タブノキ	タブノキ	ツツラジイ	ツツラジイ
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>	<i>Casatanopsis cuspidata</i>
相対的樹高		—			Null									Null							—	
樹高 (m)	17.5	16.5	16.5	16.5	2021年調査で枯死を 確認	17.0	17.0	16.0	18.5	18.5	16.5	17.0	16.5	2018年調査で枯死を 確認	20.0	18.5	18.5	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5
胸高直径 (cm)	38.5	17.5	22.7	30.8	2021年調査で枯死を 確認	39.3	34.2	27.9	31.3	28.1	25.1	37.2	22.6	2018年調査で枯死を 確認	31.4	43.3	32.7	37.7	27.8	29.8	13.9	42.4
樹勢																						
樹形																					1	
枝の生長量																						
梢端の枯損		1																				
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						
枯死前年の樹高 (m)					16.0									14.5								
直径 (cm)					26.3									36.8								
調査年度					2020									2017								

樹木衰退の原因推定 1-182, 2-37: 隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損、または若干の樹形の乱れ。

備考 1-95(2018年枯死確認)の代替木として1-80を追加(2019年)
 2-9(2021年枯死確認)の代替木として3-2を追加(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 伊自良湖

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2024年9月6日

機関名: 岐阜県森林研究所

報告者名: 久田 善純

個体番号	1	2	3	3-2	4	5	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18-2	19	20
(毎木調査番号)	124		9	53		23	6	120	119	118		80				136	94	69	70		131		147
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>
相対的樹高			Null	-	-	Null		+	+											Null			
樹高 (m)	16.2	15.1		17.7	12.9		16.9	19.6	20.3	18.0	17.3	16.2	18.2	16.3	16.2	18.6	17.9	13.9	15.6		18.4	13.8	13.8
胸高直径 (cm)	23.9	16.8		18.5	15.7		19.4	26.3	28.6	23.6	18.5	19.6	16.7	16.3	17.0	22.8	21.2	22.4	17.5		25.6	12.4	18.4
樹勢			2007年			2007年														2020年		1	1
樹形	1	1			1		1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1			1	1
枝の生長量			間伐により減少			調査で枯死を確認																	
梢端の枯損																							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							
枯死前年の樹高 (m)			9.7			不明														12.6			
直径 (cm)			12.3			不明														11.4			
調査年度			2006			2006														2019			

樹木衰退の原因推定 1, 2, 4, 5-2, 8, 11, 12, 14, 15, 17: 幹曲がり
 7: 梢端二股
 10: 幹曲がり及び梢端折れ
 13: 幹曲がり及び二股
 16: 梢端折れの跡あり
 19: 周囲木からの被圧及び幹曲がり
 20: 周囲木からの被圧、幹曲がり、二股、虫害跡(幹傷)

備考 3(2007年間伐)の代替木として3-2を追加(2007年)
 5(2007年枯死)の代替木として5-2を追加(2007年)
 18(2020年枯死)の代替木として18-2を追加(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 2024年9月5日

機関名: 岐阜県森林研究所

報告者名: 久田 善純

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	5-2	6	6-2	7	7-2	8	9	9-2	10	10-2	11	11-2	12	12-2	12-3	13	13-2	14	14-2	15	16	16-2	17	18	18-2	19	19-2	20		
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	W		
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ			
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>				
相対的樹高	+				Null	-	Null	+	Null		+	Null		Null		Null		Null		-	Null		Null		Null		Null		Null		Null		-		
樹高 (m)	33.5	29.9	32.0	30.3		28.3		32.4		30.7	33.0			31.6		28.9		29.6				26.6		32.3		29.0	30.0		29.5	29.0		32.0		32.2	27.3
胸高直径 (cm)	41.1	40.5	45.6	45.3		31.6		46.9		42.8	38.8			42.4		44.6		35.1		2011年調査で枯死を 確認		33.7		50.5		36.9	45.1		36.5	35.6		48.7		48.3	35.3
樹勢					2018年調査で枯死を 確認				2016年調査で枯死を 確認				2016年調査で枯死を 確認				2011年調査で枯死を 確認		2016年調査で枯死を 確認				2008年調査で枯死を 確認			2018年調査で枯死を 確認			2016年調査で枯死を 確認			2016年調査で枯死を 確認		1	
樹形						1					1			1			1																		1
枝の生長量		1																																	
梢端の枯損																																			
落葉率																																			
葉の変形度																																			
葉の大きさ																																			
葉色																																			
葉の障害状況																																			
ダメージクラス																																			
枯死前年の樹高 (m)					31.2		32.0		28.4			30.1		31.6		23.7		26.3	30.0		24.9		26.1			30.2			29.7		30.4				
直径 (cm)					42.6		46.1		38.5			41.7		39.5		31.5		30.8	44.5		31.2		32.4			33.4			44.6		40.4				
調査年度					2017		2019		2015			2015		2017		2010		2010	2015		2010		2007			2017			2015		2015				

樹木衰退の原因推定
 5-2, 9-2: 片枝
 8, 12-3: 幹曲がり及び梢端折れ
 11-2: 梢端二股, 斜立
 13-2: 梢端折れ
 17: 幹曲がり及び片枝
 18-2: 幹に傷 (虫害)
 20: 斜立, 片枝

備考
 14(2008年雪害による幹折れ)の代替木として14-2を追加(2010年)
 11(2011年幹折れ)の代替木として11-2を追加(2011年)
 12(2011年幹曲がり)の代替木として12-2を追加(2011年)
 13(2011年枯死)の代替木として13-2を追加(2011年)
 7, 9, 12-2, 18, 19(2016年間伐)の代替木として7-2, 9-2, 12-3, 18-2, 19-2を追加(2016年)
 5, 10, 16(2018年台風による倒伏)の代替木として5-2, 10-2, 16-2を追加(2019年)
 6(2021年雪害によるの幹折れ)の代替木として6-2(大円外)を追加(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認, Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した